

広報



【特集】

皆さんの声をまちづくりに

— 市第5次総合計画後期基本計画策定に向けて —P2~5

【シリーズ】風評被害を吹き飛ばそう！がんばろう常陸太田
今年も美味しい常陸太田の ぶどう・梨P6

【シリーズ】3.11その時— 地域を救う自主防災会P7

おめでとうございますP9

まちの安全を守るために 活躍する消防団員P10~11

平成23年(2011)

8

月号

No.597

【新しい常陸太田駅が、ハッスル苗門号が、目覚進行！】



[特集]

皆さんの声を まちづくりに

— 常陸太田市第5次総合計画後期基本計画策定に向けて —

総合計画は、市のまちづくりの指針となるもので、市が目指すまちづくりの方向や、それを実現するための施策などを定める重要なものです。
市民の皆さんが住みやすいまちをつくるために、市民の皆さんの貴重な意見をいただきながら、まちづくりを進めていきます。



やまぶき さきちゃん

まちづくりの指針と なる総合計画

総合計画は、将来のまちづくりの目標を掲げるとともに、これを実現する施策を具体的に示した計画で、まちづくりを行う市民と行政の指針となるものです。

常陸太田市第5次総合計画は、平成19～28年度、10年間のまちづくりの基本姿勢を示す「基本構想(長期ビジョン)」と、5年間の基本構想を実現するための施策内容を示した「基本計画(中期ビジョン)」、さらに3カ年の施策や事業を示した「実施計画」の3つで構成されています。

前期計画の成果を検証し後期計画を策定

本市は、常陸太田市第5次総合計画の基本構想に示されているまちの将来像「快適空間・自然・歴史を活かし、地域ががやぐ協働のまち」を実現するため、前期基本計画に基づき各種政策・施策を実施しています。

そこで、前期基本計画(平

成19～23年度)の成果を検証し、市民アンケート調査などの結果をふまえ、まちの将来像の実現のため、今後5年間の市の施策を定めた後期基本計画を策定します。

— 常陸太田市第5次総合計画 —

	19年度～23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
基本構想(長期ビジョン)	10年間					
基本計画(中期ビジョン)	【前期】5年間	【後期】5年間				
実施計画		3カ年の計画とし、毎年度見直し。				

現在、後期5年間の基本計画をつくっています。



市民の皆さんのご意見はこんなこと

― 市民アンケートの調査結果 ―

後期基本計画を策定するにあたり、市民との協働によるまちづくりの実現に向け、市民の皆様のご意見やご要望を把握するため、20歳以上の市民および将来の常陸太田市を担う中学生・高校生を対象に、市民アンケート調査を実施しました。

一 般		中 高 生	
対象者	住民基本台帳より年齢別、地区別の層化法により無作為に抽出した20歳以上の市民3000人	市内に所在する中学校（8校）、高等学校（4校）に在学する全ての学生3562人	
実施時期	平成23年2月8日～2月22日	平成23年2月4日～2月15日	
配布・回収方法	郵送による発送・回収	学校による配布・回収	
回収票（回収率）	1716票（57・2％）	3280票（92・1％）	
有効回答票※（回答率）	1716票（57・2％）	3241票（91・0％）	

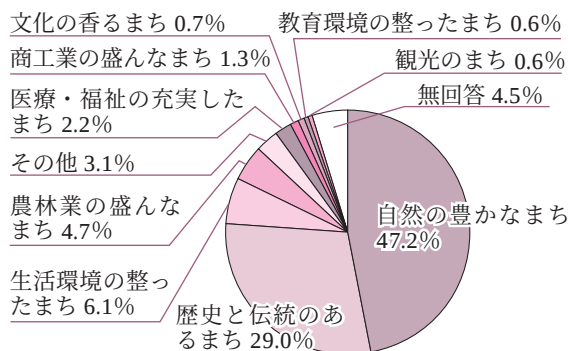
※全問無回答のアンケート票を除いた票

①どのようなまちになればいいですか？

【一般】市の現状のイメージについては、「自然の豊かなまち」の47・2％が最も多く、次いで「歴史と伝統のあるまち」の29・0％などとなっています。

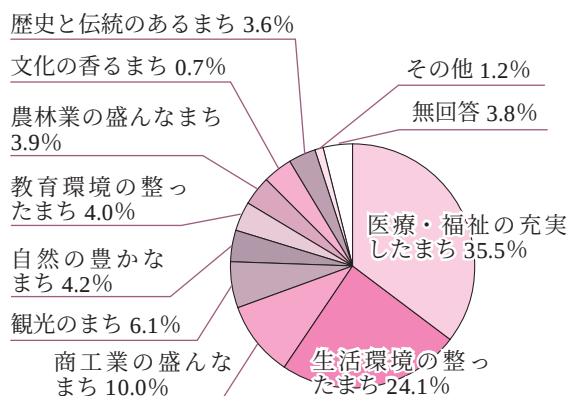
市への今後の期待については「医療・福祉の充実したまち」の35・5％が最も多く、次いで「生活環境の整ったまち」の24・1％などとなっています。

【一般】現状のイメージ



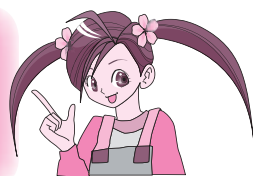
【前回調査との比較表】 (%)	今回調査		前回調査	
	割合	順位	割合	順位
自然の豊かなまち	47.2	1	42.8	1
歴史と伝統のあるまち	29.0	2	32.9	2
生活環境の整ったまち	6.1	3	5.0	4
農林業の盛んなまち	4.7	4	6.3	3
医療・福祉の充実したまち	2.2	6	1.0	6

【一般】今後の期待



【前回調査との比較表】 (%)	今回調査		前回調査	
	割合	順位	割合	順位
医療・福祉の充実したまち	35.5	1	32.3	1
生活環境の整ったまち	24.1	2	23.0	2
商工業の盛んなまち	10.0	3	9.7	3
観光のまち	6.1	4	5.9	5
自然の豊かなまち	4.2	5	7.8	4

調査項目は17問あり、詳しい回答内容は、市ホームページでご覧いただけますよ！



3つの施策の基本方向

今までの計画では

基本計画は、基本構想で定められた3つの施策の基本方向に基づき、各種施策を展開しています。現在の第5次総合計画前期基本計画までに行った主な事業をご紹介します。

輝く人をつくる



- 子育て広場や放課後児童クラブ、子育て情報誌などの整備
- 医療費の助成対象を中学3年生までに拡大
- 妊婦健診費用の一部助成
- 講座や教室など公民館活動の活性化支援
- 峰山中校舎建設など学校施設修繕・改善工事実施
- 健康スポーツデーの開催など体力づくりの推進

安らぎのある快適環境をつくる



- 木島大橋など橋や道路、駅周辺の整備
- 結婚相談室の設置や新婚家庭への家賃助成
- 市民提案型まちづくりなど市民協働の推進
- 市民バスや予約型乗合タクシーなど地域公共交通機関の整備
- 市民環境会議の設立など環境対策の推進
- 自主防災会組織の設立支援（今年度中に全町会整備予定）

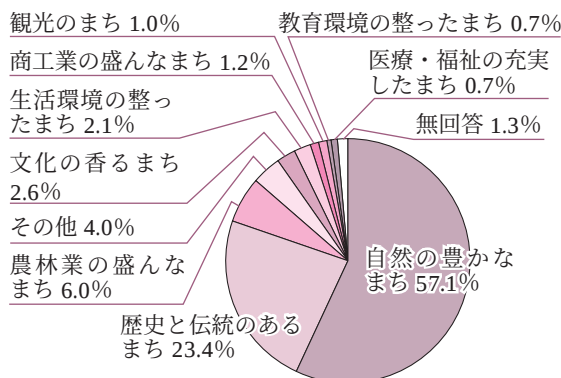
まちの元気をつくる



- 朝市の開催など生産者と消費者の顔の見える関係を大切にした地産地消の推進
- 地域の活性化のための地域資源を活用したエコミュージアム活動の推進
- 指定文化財一般公開に合わせたツーリズムの推進
- 市民と共に企画・開催する各種まつり・イベントによるまちの活性化
- 農業の担い手育成・支援

【中高生】 市の現状のイメージについては「自然の豊かなまち」の57・1%が最も多く、次いで「歴史と伝統のあるまち」の23・4%となっています。

【中高生】 現状のイメージ



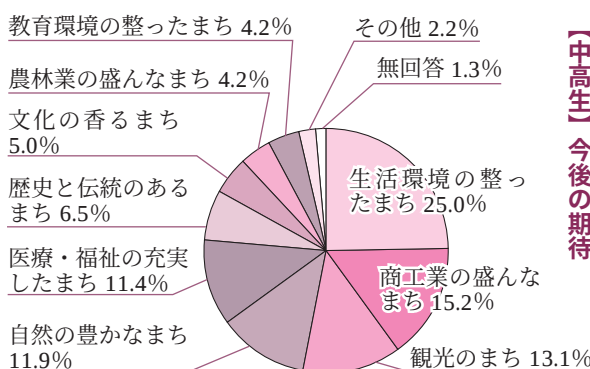
【前回調査との比較表】	今回調査		前回調査	
	割合 (%)	順位	割合 (%)	順位
自然の豊かなまち	57.1	1	54.7	1
歴史と伝統のあるまち	23.4	2	26.1	2
農林業の盛んなまち	6.0	3	6.5	3
文化の香るまち	2.6	5	2.8	4
生活環境の整ったまち	2.1	6	2.3	6

②常陸太田市に重点的に推進してほしいことは？

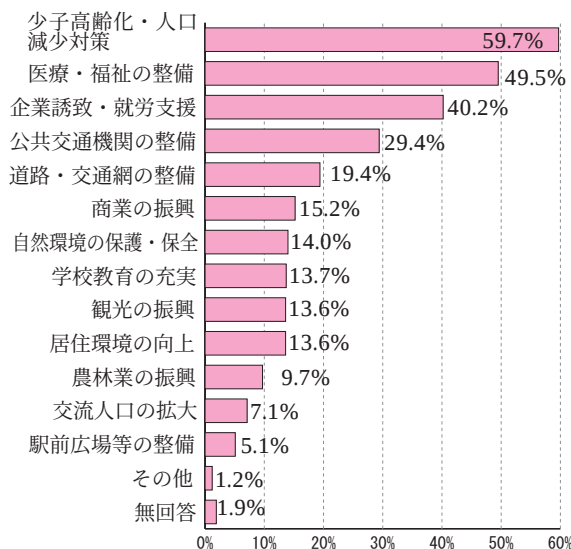
本市が重点的に推進する施策などは、まちづくりの方向性と同等に、「少子高齢化・人口減少対策」や「医療・福祉の整備」、「企業誘致・就労支援」などが多くなっています。前回調査に比べると、「医療・福祉の整備」（前回は7番目）や「企業誘致・就労支援」（前回は10番目）への要望が増えています。

市への今後の期待については「生活環境の整ったまち」の25・0%が最も多く、次いで「商工業の盛んなまち」の15・2%、「観光のまち」の13・1%などとなっています。

【中高生】 今後の期待



【前回調査との比較表】	今回調査		前回調査	
	割合 (%)	順位	割合 (%)	順位
生活環境の整ったまち	25.0	1	17.4	2
商工業の盛んなまち	15.2	2	12.3	4
観光のまち	13.1	3	13.0	3
自然の豊かなまち	11.9	4	20.0	1
医療・福祉の充実したまち	11.4	5	10.7	5



計画策定に市民が参加

市民の皆さんからのアンケート調査をもとに、審議会やまちづくり懇談会など、市民が計画に参加する会議を開催し、幅広い意見を聴きながら、市民の皆さんに親しみをもっていただけるような計画をつくっていきます。

◇後期基本計画策定スケジュール（予定）

期間	内容
6月～12月	総合計画策定審議会
7月～10月	総合計画まちづくり懇談会
8月～9月	地域審議会、各種団体ヒアリング
9月	ホームページアンケート
10月	パブリックコメント
平成24年3月	後期基本計画策定

様々な分野の市民の皆さんが議論

総合計画策定審議会
市の条例に基づいて設置されている市長の諮問機関で、総合計画に関する重要事項について調査・審議し、市長に意見を述べます。
福祉や教育、産業などの分野から15人で構成され、総合的・専門的視点から基本構想および基本計画を取りまとめます。

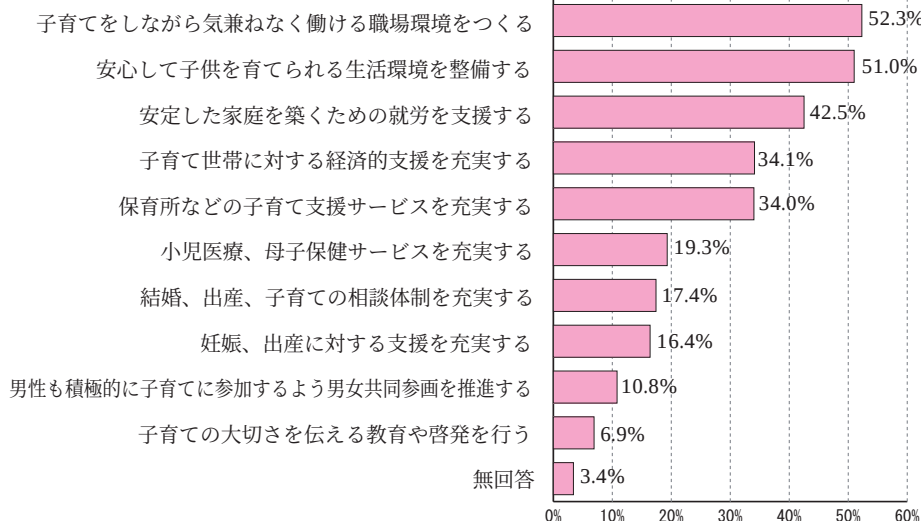
まちづくり懇談会
20～60歳代の福祉、産業、教育など様々な分野から選



様々な市民目線での意見が飛び交った「まちづくり懇談会」

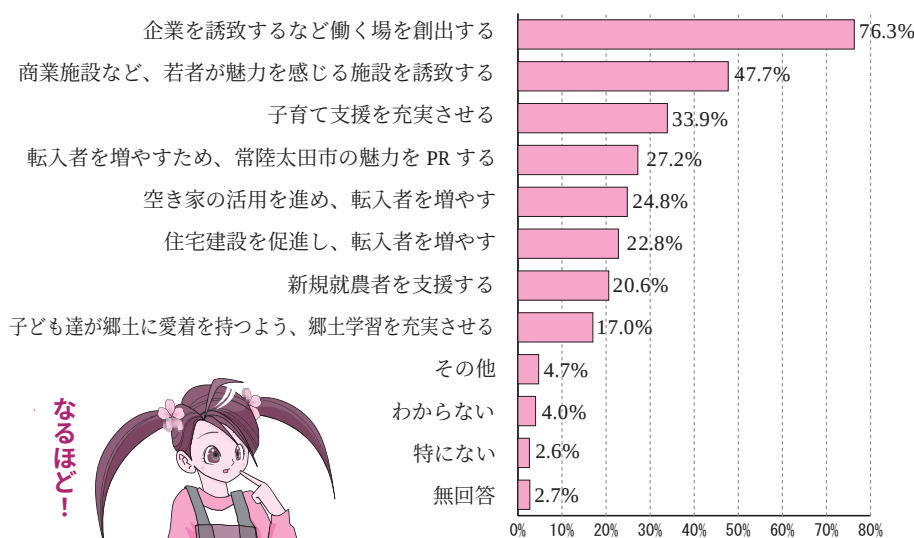
【少子化対策】

必要と思うものについては「子育てをしながら気兼ねなく働ける職場環境をつくる」の52・3%が最も多く、次いで「安心して子供を育てられる生活環境を整備する」の51・0%と、それぞれ5割を超えています。次いで「安定した家庭を築くための就労を支援する」の42・5%などとなっています。

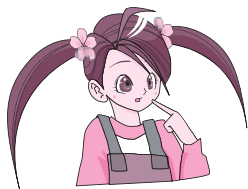


【人口減少対策】

必要と思うものについては「企業を誘致するなど働く場を創出する」の76・3%が最も多く7割を超えています。次いで「商業施設など、若者が魅力を感じる施設を誘致する」の47・7%、「子育て支援を充実させる」の33・9%などとなっています。



なるほど！



市民の皆さんの声をお寄せください

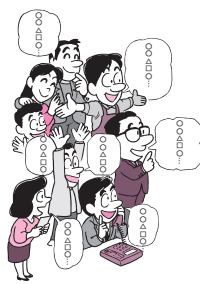
後期基本計画の策定において、市民の皆さんから幅広い意見を聴くため実施します。詳細は、後日お知らせ版や市ホームページでお知らせします。

ホームページアンケート

本市が重点的に推進する施策や、まちづくりの方向性など、ある程度の具体的な内容が固まった時点で、広く市民の皆さんから意見を寄せていただくためにを行います。

パブリック・コメント

後期基本計画の案について、事前にその案を公表し、広く市民の皆さんから意見を寄せていただくためにを行います。

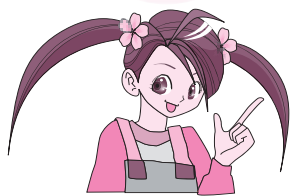


*各公民館で開催する市政懇談会などでも、皆さんのご意見をお寄せください。

これら、前期基本計画の検証や市民アンケート調査、まちづくり懇談会、ホームページアンケートなどから市民の皆さんの意見をいただき、少子高齢化・人口減少対策や医療・福祉の整備、東日本大震災からの復興など、**後期基本計画の重点戦略を検討してまいります。**

問企画課企画係（内線311・312）

市民の皆さんの声が
明るい常陸太田市の
未来をつくっていき
ます！



「シリーズ」風評被害を吹き飛ばそう！ がんばろう常陸太田！ ①

今年も美味しい！常陸太田のぶどう・梨

東日本大震災により発生した福島第一原発の事故のため、全国各地で「風評被害でモノが売れない」という事態が起きています。

本市の安全で安心な美味しいぶどう・梨を多くの人に食べていただき、市民の皆さんと行政が力を合わせて、風評被害を吹き飛ばしましょう。

今年も作柄が良く生育も順調。



J A 茨城みずほ
常陸太田ぶどう部会長
本多 技研 さん
(増井町)

原発事故による風評被害を心配して、ぶどうの放射性物質の測定をぶどう部会独自で2週間毎に行っています。

現在までに一度も検出されていませんので小さなお子様にも安心して食べていただけます。

今年も昨年から作柄が良く、天気の影響もあって甘みが強く、また雨にも恵まれ生育も順調。巨峰や常陸青龍のほかにも、様々な品種を用意しております。

8月10日	ハウスオープン
8月20日	太田進徳幼稚園の園児を迎えオープンプレイ
9月1日	露地物オープン

※巨峰1Kg、ハウス物で1600円、露地物で1050円。

安心して召し上がってください。



J A 茨城みずほ
常陸太田梨部会長
萩谷 輝夫 さん
(藤田町)

原発事故による影響が心配でしたが、7月25日に市内の梨の測定を行いました。

また、酸味がなく桃に似た甘い香りがする新しい品種の「秀玉」が好評です。まだ市場には出回っておりませんので、ぜひ味わいに梨園までいらしてください。

今年は、天気が良かったので、

【収穫頃合】

8月20日頃	幸水
9月3日頃	豊水・秀玉

※2Lサイズ程度で1Kg 500円。予約や宅配も賜っておりますのでお気軽にご連絡ください。

本市の農産物の安全性をPR。

市では、6・7月に玉ねぎやキュウリ、ピーマンなど野菜類10品目の放射性物質の測定調査を専門機関に依頼し、結果をお知らせ版や市ホームページ、市役所本庁1階ロビー、農産物直売所などで公表しています。

また、風評被害対策のため7・8月に東京都中野区や千葉県、牛久市等で、農産物などの販売やチラシを配布してのPR活動を行っています。

ぶどう・梨をはじめ、美味しく安全・安心な常陸太田の農産物などを、今後も市内外へ積極的に情報発信していきます。



中野区のイベントにも出店し、都心の方に本市の安全で美味しい農産物等をPRした



茨城県の特産品情報や、アンテナショップ「黄門マルシェ」で、本市の観光PR・販売している

地域を救う 自主防災会

西染町自主防災会

3月12日の早朝、震災の対応について話し合う西染町防災会役員の皆さん



防災会役員による迅速な対応

「電話が全く通じない。直接、自主防災会役員の自宅を回ろう！」

まだ余震が続いていた地震発生直後の午後3時、大須賀治町会長と二方清副町会長（役職は共に震災当時）は二手に分かれて車を走らせ、防災会役員16人の自宅に向かいました。

緊急連絡に応じて防災会役員が西染生活改善センターに集合した後、2組に分かれて各戸の被害状況調査に直行。高齢者などの安否確認、道路・家屋の被害状況を記録していきながら、避難所である西染生活改善センターへの避難を呼びかけました。

午後4時20分、西染生活改善センターに西染町災害対策本部・避難所を設置。11人が避難し、自家発電機による発電や、炊き出しを行いました。

対策本部では避難状況や地域の被災状況をとりまとめ水府支所に報告した後、1家族4人と共に町会長と副町会長が避難所に宿泊し、防災会役員は翌日の活動対応について打ち合わせをして、各自宅へと戻りました。



震災時の状況について詳しく話してくれた大須賀治さん(左)と二方清副町会長

更なる行政との連携強化を



防災会役員とボランティアの協力で、倒れた塀などの撤去作業に取り組んだ

翌12日午前7時、防災会役員や地域のボランティアの方20人が集合して、3班に分かれて各戸の安否確認と被害状況の確認を行い、午前9時からは町内の生活道路の通行確保のため、道路に面した崩れた石塀などの落下物の撤去作業を開始しました。

「防災会役員ではない地域の方も、自宅の被害があるにも関わらずボランティアとして参加してくれたことが嬉しい」と、話すのは大須賀治さん。

「災害時にどのような情報が必要か、そして行政にどのような報告をし、自分たちでどう行動していくかを考えていく必要がある」と、行政との連携をより強化していかなければならないと感じたといえます。

平成22年に結成した西染町自主防災会では、防災資機材を配備し防災訓練を行ってきました。今後は、地域住民に防災会活動の趣旨などの周知を強化し、災害が発生した際、初期段階で更に迅速な対応ができるよう、地域住民の理解を得ながら災害に備えていきます。

カブト虫を東北被災地の子どもたちに

折橋町の芸（民舞）と農（農業）を愛するグループ「茨城常陸太田折橋芸（能・農）部（佐川定雄代表）」が、7月24・25日、宮城県気仙沼市の保育所の子どもたちにカブト虫を贈りました。

連日テレビから流れる震災のニュースを観ていたメンバーから「そうだ、カブト虫を贈ろう！」との提案があったことで計画され、同部で育てたカブト虫、オス・メス500組を虫かごに入れ、気仙沼市の保育所で手渡ししました。

「被災地の状況を考えるとカブト虫を飼うことは難しいですが、このような時期だからこそ、カブト虫を飼うことを通じて、愛情や思いやりの大切さを子どもたちに少しでも分かってもらえたら嬉しい」との思いを込めて贈ったカブト虫。

受け取った子どもたちは大喜びで、「心のケアにもつながる」と保育士さんも嬉しそうに話してくれました。



Tシャツも揃えたメンバーの皆さん



子どもたちは贈られたカブト虫に大喜び

今年の夏は15%節電を目指そう！ 市内各地で節電キャンペーンを展開

買い物客などに節電を呼びかけ

市民・事業者・行政が連携して環境保全活動などを行っている常陸太田市民環境会議（会長・大久保太一市長）では、7月15日にマックスバリュ店舗前など市内4カ所で「節電キャンペーン」を行いました。

キャンペーンには市民環境会議の役員が参加して、買い物客などに節電チラシと冷蔵庫用カーテンを配り、「15%の節電をお願いします！」と呼びかけました。

節電チラシを受け取った市民からは、「今年も猛暑で節電するのは大変だけど、できることから少しずつしていきたい」「今回の震災で電気の大切さを痛感しました。もちろん節電に協力します！」など、節電に前向きな声が多く聞かれました。

市民環境会議では、各家庭に「エアコンは室温28℃を心がけよう」「スイッチはこまめに切りましょう」の2種類の節電啓発ステッカーを配布し、7～9月中の節電の取り組みを強化していきます。

冷蔵庫用カーテンで冷気の放出を抑えて節電！

夏の時期、冷たい飲み物やアイス求めて、冷蔵庫のドアを開ける回数が多くなっているでしょうか？

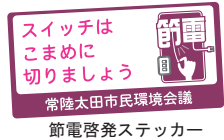
冷蔵庫のドアを開けると、中の冷気が外に逃げてしまうため電気使用量が増してしまいます。

そこで「冷蔵庫用カーテン」を取り付けることで、冷蔵庫の開閉時における冷気の放出を最小限に抑えることができ、**冷蔵庫内の温度の上昇を防いで節電につながります。**



※庫内ドアポケット側への冷気循環のため、取付時にカーテンの左右に約1.5cmのすき間ができるようにカットしてください。

また、カーテンの効果を高めるために
①食品を詰め込み過ぎない
②ドアの開閉は素早く行う、
ことを心がけてください。



生活関連情報（8月1日月 午前9時現在の市の状況をお知らせします）

公共・観光施設の状況

- ◇金砂郷支所は、金砂郷保健センター（☎76-2111 こどもセンター北側）で業務を行っています。
- ◇パルティホール大ホール、梅津会館会議室、郷土資料館分館、交流センターふじ、山吹運動公園市民体育館、プラトーさとみは利用できません。

道路の状況

◇通行止め箇所の復旧状況

- 里川橋（国道293号）…通行可（仮橋2車線） ○幸久橋（旧国道349号）…通行可
- 機初橋（県道日立笠間線）…通行可 ○栄橋（県道日立笠間線）…通行可（9月から総重量4トン以上を規制予定）
- 棚谷町地内（県道常陸太田那須烏山線）…通行可
- ※市道の陥没やひび割れなどを発見した場合は、建設課（内線209）または金砂郷産業建設課（☎76-2117）、水府産業建設課（☎85-1116）、里美産業建設課（☎82-2768）までご連絡ください。

原子力関係

- ◇放射線測定数値 本市を含む県内の放射線測定の数値は、現在のところ健康に影響のあるレベルではありません。測定値は県のHPで随時確認することができます（測定ポイントは磯部・真弓・久米）。
- ※水道水や農作物、小・中学校、幼稚園、保育園の測定値については、現在のところ基準値以下のため安全です。詳細については、お知らせ版や市ホームページでご確認ください。

耕作放棄地の発生防止・解消に大きく貢献

水府愛農会が全国農業新聞賞を受賞

耕作放棄地の発生防止や解消などに取り組み団体に贈られる、**第3回耕作放棄地発生防止・解消活動表彰**（全国農業会議所・全国農業新聞主催）において、(有)水府愛農会（川又節郎代表）が全国農業新聞賞を受賞しました。

して大きな役割を果たすと共に、耕作放棄地を約5 ha解消するなど、地域農業に大きく貢献してきました。

川又代表は「若い人の農業離れが進む中、地域に貢献したいという思いで取り組んできました。受賞はとても嬉しいです。今後は収量をいかに増やしていくか研究していくつもりです。農家や消費者の方など多くの人との出会いがあるこの仕事で、これからもどこにも負けない美味しいそば作りに励んでいきます」と、力強く意気込みを話してくれました。

(有)水府愛農会は、旧水府村時代に、そばで村おこしを始めようと、国の補助を受けて平成15年に農業法人を立ち上げました。そばの製粉機やコンバインなどの機械を導入して本格的なそばの生産に着手し、7年間で約17 haの農地を集積。地域農業の担い手と



左から會澤勝美さん、岩間正典さん、川又節郎代表、和田範政さん、益子慎哉さん



市農業委員会総会で賞の伝達式が行われ、表彰状を受け取る川又代表④

交通安全子供自転車茨城県大会

郡戸小が団体の部で4位に入賞

小学生の自転車に関する学科と安全・技能走行を競う、**第48回交通安全子供自転車茨城県大会**（財茨城県交通安全協会・茨城県警察本部主催）が7月7日、ひたちなか市で開催されました。

本市からは、今年で太田地区大会8連覇を達成した郡戸小学校（仁平良治校長）が出場し、県内全28校が出場する中、団体の部で見事4位入賞を果たしました（選手・鈴木莉緒さん、中村桃香さん、塙亜紀乃さん、片岡菜月さん（以上6年生））。

この競技は、交通規則、道



今年は練習どおりの実力が出せなかったというものの、みんな笑顔で県大会入賞の記念写真を撮影



審査員がチェックする中、慎重に自転車を運転する子どもたち

路標識および自転車の安全な乗り方についての筆記テストと、ジグザグ進行やバランスの転換など自転車の乗り方の熟練度を評価する技能走行テストで行われます。

「子どもたち一人ひとりに応じたアドバイスを心がけている」と話すのは、監督の根本仁先生。郡戸小では、交通安全の知識と技術が習得できるこの競技への出場を先生方みんなで支援しているほか、卒業生が練習を見にきたり応援の手紙を送ってくれたり、温かい伝統が毎年受け継がれています。

まちの安全を
守るために

活躍する消防団員

間市消防本部総務課（☎ 73・11193）

消防団員は、職業を持つ傍ら「我がまちの安全を守る」という使命感のもと、地域の防災活動のリーダーとして幅広く活躍しています。特に地域の皆さんとのふれあいを大切にした活動は、防災に強い安全なまちづくりの実現に欠かせないものです。

消防団員はどんな人？

火災が起きたとき、火を消すために駆けつけてくれる消防職員と消防団員。

消防職員は消防本部や消防署にいる市の職員で、消防団員は自営業や会社員などの仕事をしながら活動する、特別職の地方公務員です。本市の消防団は次のように組織され、899人の団員が活動しています（7月1日現在）。

常陸太田市消防団本部

- ▽太田支団（第1～9分団）
- ▽金砂郷支団（第1～17分団）
- ▽水府支団（第1～4分団）
- ▽里美支団（第1～4分団）

非常勤特別職の公務員になる消防団員は、災害出動など公的な活動を行うため、守ら



自主防災会や町会などの対象となる講習会や救急講習会も行っている様子。



日頃の訓練の成果を発揮する場として、各分団は熱が入る消防操法大会の様子。

頼りにされる消防団員

火災や地震、風水害などの災害が発生した場合に、消防署と一体となって火災の消火や救助、救護活動などを行い、住民を守るのが消防団の大きな役割です。

普段は、災害に対する訓練や、火災予防のために地域の見回りなどを行っているほか、住民一人ひとりの防災意識を

高めるため、火災予防や応急手当の指導などの活動をしています。

また、日頃の訓練により培った消防操法技術を競い合う「消防操法大会」では、消防ポンプ自動車や小型ポンプの操作の速さと正確性、規律の正しさを競い合います。

このように、自分の仕事をしながら、私たち市民の生命と財産を守るため日々訓練に励んでいる消防団員は、いざというときに駆けつけてくれる、まちの頼もしい存在です。

火災・救急・救助は

1119番

休日・夜間に病院を探すとき

☎ 029・241・4119

火災の問い合わせ

☎ 73・2940（テレホンガイド）

施設の見学

☎ 73・0119

親が職場で消防活動をしていたため、自分も地域の役に立ちたいと思って消防団に入り7年目になります。ガソリンスタンドで働きながら、月に一度の管内パトロールや機械の点検などを行っています。実際に火災が起きたときや、行方不明者の捜索に出動したことは何度もありますよ。初めて火事の現場に直面したときは、何をしたいかわからずにうろたえ、日ごろの訓練どおりの消火作業ができなかったりと、経験がとても大切なことだと痛感しました。

地域清掃などを地域の方と一緒にしたり、頼られたりするの嬉しいですね。「ご苦労様」と声をかけてもらえると、消防団員になって良かったと実感します。

地域の皆さんに安心してもらいたいという思いで、いざというときに備え訓練に励んでいます。



水府支団第2分団1部団員
小林 陽介さん（中染町）



本部分団（女性消防）団員
石川 千雅子 さん（小沢町）

専業主婦の私が消防団に入って6年目になります。子どもの幼稚園で応急手当講習会を受講した際、消防団員募集の話を聞き、一緒に講習を受けた幼稚園のお母さんたち11人で入団しました。女性消防団は実際の火災が発生した際には出動しませんが、消防本部と連携して学校や企業、福祉施設、地区の防災会などで応急手当講習会を開催しています。また、秋まつりや出初式にも出るなど、火災予防・啓蒙を中心に活動しています。

講習会の受講者から「受講して良かった」と言っていただくと嬉しいです。いざという時のために、心肺蘇生法などの応急手当の方法は覚えておくといいですよ。震災があって改めて感じましたが、消防団はなくてはならないもの。ご近所の方々や仲間とのつながりから、安心が生まれると思います。



消防団の歴史は、江戸時代の享保3（1718）年に大おお岡越前守忠相おみちさけによって組織された町火消まちひけにさかのぼります。町火消は「いろは四十八組」に分かれ、屋根の上に登ったり、重いものを持ちたり、機敏な活動をするために、各町内の土木や建築の仕事に従事する人で組織され、各町内によって決められた経費で運営されました。

こうしてつくられた町火消は、お互いに組の名誉をかけて働くようになり、纏まとをかがけて功を競い合いました。

その後町火消は、消防組（明治3年）↓警防団（昭和14年）↓消防団（昭和22年）と名称を変えながら、現在に至ります。

豆知識
消防団の歴史

安全・便利。みんなが集う新しい交流拠点

常陸太田新駅舎完成披露式典・イベント

7月16日、JR常陸太田駅の新駅舎完成披露式典が、同駅前広場で開催されました。

橋本昌昭知事をはじめ多くの来賓や地元山下町の青年会、愛・宮ノ脇・木崎保育園児など地元の皆さんも参加。水郡線の愛称「奥久慈清流ライン」の披露やレトロ感あふれる「ハッスル黄門号」の運行などが行われました。

新しく便利になった常陸太田駅をどうぞご利用ください！



↑久慈川を渡る「ハッスル黄門号」



大久保市長、橋本県知事、愛・宮ノ脇・木崎保育園児によるくす玉割り



↑地元の特産品も並び、来場者に本市をPRした



↑「太田線と駅を愛する市民応援団」発起人の皆さんによる活動宣言



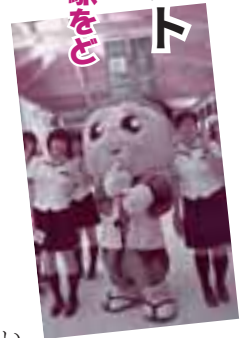
↑地元の山下町青年会の皆さんによるカキ水サービスには行列ができた



↑パルティホールでは「常陸太田駅周辺いま・むかし」写真展が行われた



保育園児の合唱や天神ばやし太鼓、市民吹奏楽団の演奏も新駅舎の完成をお祝い



出前講座「市役所を歩いてみよう」

小学生が市役所で校外学習

6月22日・30日、西小沢小・水府小の3年生が、市役所（本庁）を訪れ、庁舎内の見学を行いました。

これは、社会科の校外学習の時間に、市役所の仕事内容や働く人の様子を調べるもので、市職員が講師となり説明。小学生たちは「市長さんはどのような仕事をしているんですか」「どのような相談があるのですか」「1日の利用者は何人ですか」など、たくさん質問をしていました。
＊市政やくらし、環境、福

祉、産業、教育など、全99種類の出前講座がありますので、どうぞご利用ください。

問情報政策課広報広聴係（内線304）



「こんな感じでお仕事してるんだ」～税務課前で～



水府小3年生の皆さん



西小沢小3年生の皆さん

豊かな自然と歴史あふれる常陸太田で

観光ボランティアガイド県大会

6月29日、生涯学習センターで「第4回観光ボランティアガイド県大会」が開催され、県内各地で観光ボランティアをしている方など約240人が参加しました。

この大会は、ガイドの皆さんが情報交換をしながら、ガ

イド技術の向上や各団体のネットワーク強化などを目的に開催されたものです。

参加者は、市観光物産協会・

佐藤賢一事務局長の講演や分

科会での意見交換のほか、市

内各地の史跡を回り「常陸太

田まちかど案内人の会（豊田

正枝会長）」会員から説明を

受けるなど、歴史豊かな常陸

太田の魅力を堪能していまし

た。



稲村神社（天神林町）



若宮八幡宮のケヤキ



西山の里 桃源

都会の若者たちが農作業をお手伝い

ワーキングホリデー in 常陸太田

7月22～24日、市内の野菜、ぶどう農家で、市外のボ

ランティアが農作業を手伝う

「ワーキングホリデー in 常陸

太田」が行われました。

東京や神奈川などからの参

加者4人は、3軒の農家に分

かれ野菜の収穫やぶどうに

袋をかぶせる作業などに従事

最初は戸惑いを見せていまし

たが、徐々に慣れた手つきで

作業を進めていました。

農家の方は、「1人でもと

ても助かる」「リピーターの

方もいて作業がはかどる」な

ど、嬉しそうに話していまし



出荷に備えてネギの皮むき



ぶどうの袋かけ（害虫や病気、雨風から守る）



ぶどうの摘粒（栄養が十分回るように粒を抜く）

た。

ワーキングホリデーは来年

も継続し、受け入れ農家や参

加者の拡大を図っていきます。

佐都四地区農業 集落排水処理施 設が完成

7月6日、「佐都四地区農業集落排水処理施設」の竣工

式が行われました。この施設

は、平成19年度から佐都地区

の4町内（白羽町、茅根町、

常福地町、春友町）において

工事を進めてきました。

この農業集落排水事業は、

計画戸数442戸、処理対象

人口1680人、管路施設に

よる集合処理方式と合併処理

浄化槽による個別処理方式を

組み合わせたもので、地区内

の生活環境と農業用排水路

等の水質改善が期待されます。



白羽町に完成した処理施設

真弓町台山ハイキング

真弓町会（黒澤一治町会長）が整備した台山ハイキングコースを、7月3日、約70人が参加して山歩きを楽しみました。

ハイキングコースの整備は、同町会の地域資源の魅力を再発見する「エコミュージアム活動」に取り組んだ結果、実現したものです。

参加者は、東真弓集会所をスタートして自然豊かな山道を進み、標高240mの「みはらし台」に到着すると「すごい眺め！」「気持ちいい」と、歓声を上げました。その後、佐竹氏が金を掘った金山穴跡などを見学しながら、参加者は約3時間かけてコースを巡りました。



↑標高240mの「みはらし台」で記念写真をパチリ



←「馬ころがし」と呼ばれる林道を進む参加者。細い尾根路で荷物を積んで疲れた馬が転がったことから名がついた

コースの詳細は、広報ひたちおた7月号の「てくてくウォーク」をご覧ください！

大学生が巨樹を巡るツアー



↑巨木フォーラムのポスターになった万畑のカシを眺める参加者



↑西金砂神社には、鳥居の前にサワラとイチチョウの巨木がそびえ立つ

7月2日、茨城キリスト教大学の学生が参加して、本市の巨樹見学ツアーを行いました。

若宮八幡宮のケヤキや香仙寺のシイ、泉福寺のシダレザクラ、瑞竜小のサクラなどを巡った学生たちは、「常陸太田市にこんな場所があるなんて知らなかった」「^{まんばた}万畑のカシは中が空洞になっていても生きているのがすごい」など、本市の巨樹を珍しそうに見学しました。

ちょっと寄り道

国安薬師堂



山田川にかかる岩本橋を旧道から渡ると、右前方に杉木立があります。その奥に建っているお堂が、地元の住民から「お薬師様」の名で親しまれている薬師堂です。

お堂の西につながる台地には、その昔、^{がんぼん}岩本山^{いおう}医王寺という格式高い浄土宗のお寺がありました。薬師堂は、そのお寺の付属の建物だったのかもしれませんが。お堂には、眼の病にご利益のある薬師如来像が安置されています。残念なのは、この像は明治中頃に二度の失火にあい、黒こげになってしまったことです。

それでも、縁日の旧暦6月12日には、近郷近在から多くの参拝者が訪れたということです。縁日の夜は、境内で浪曲や映画会などが催され、夜店も並び、夜祭はいっそう賑わったようです。

現在は7月第4土曜日を夜祭としていますが、催し物もなく、昔のような賑わいはみられなくなったものの、子供会でお参りに訪れるなど、地域住民のよりどころになっています。

来月は国安町の「^{くにやす}す」つながりで、^{ずいりゅう}瑞龍町さんにお願ひします。



紹介者
国安町
野上 平さん

今月は国安町

10月29日土～30日日に本市で開催される「巨木を語ろう全国フォーラム」の2日目には「巨樹めぐりツアー」が行われるんじゃ。
 今月は、ツアーコース③と④を紹介するぞ。

ひたちおおたの 巨木

今月は巨樹めぐりツアーのコース③と④を紹介するぞい



森の精「うっじい」

ツアーコース③ (定員 50人) 里美の風車と巨樹巨木

パーティホール → 御岩神社 → 大中神社 → 菊池家 → 猿喰のケヤキ → 里美牧場 → 七反のしだれ桜 → 里美生産物直売所 → パルティホール *バスで移動

【各コース共通】

出発 8:20

解散 14:20

(予定)

*内容は変更になる場合があります。

ツアーコース④ (定員 50人) 竜神大吊橋と山里

パーティホール → 正宗寺 → 東金砂神社 → 竜神大吊橋 → 近津神社 → だいが小学校 → 法龍寺 → 大子駅 → パルティホール *バスで移動

各コースの参加者募集は、後日、お知らせ版に掲載するじゃ。

問 文化課エコミュージアム推進室 (☎内線 542)

つながりぼん

～ 地域おこし協力隊の活動報告 ～

新鮮な野菜、たくさん採れたぞー!!

Relier の野菜畑で記念すべき第 1 号野菜が 7 月 7 日に収穫されました♪

現在、きゅうりとズッキーニがぞくぞくと採れています。カボチャもツルが伸び、白い実をつけ始めています!! 収穫したらハロウィンパーティーをするのが Relier の夢…(●´Д`●)

これから、もっともっと美味しく新鮮な野菜が収穫できるように、Relier はさらに勉強していきます!!

また、14 日には、東京で開催された他地域の行政、農家、企業の方が集まる交流会で、私たちの活動報告をしてきました。他地域での取り組みは私たちにとって貴重な情報でした。本市のアピールもできたと思います♪

*「つながりぼん」とは、チーム名 Relier (フランス語で結ぶ、つなぐという意味) から連想される「つながり」とシンボルマークである「りぼん」を組み合わせで名づけました☆

↓ 収穫した野菜



↑ 東京での活動報告

地域おこし協力隊とは？

平成 21 年度から始まった総務省の事業で、都市圏の住民が 1～3 年間、過疎地域に住民票を移し地域で生活しながら、農林漁業の応援、水源保全・管理など様々な地域協力活動をしていきます。Relier の Blog * <http://ameblo.jp/ykm-satomi3103/>



温かいご支援、 ありがとうございます。

東日本大震災の発生後、本市に多くの個人、企業、団体などから義援金や支援物資が寄せられました。心から感謝を申し上げます。
(6月28日～7月28日受入分 順不同、敬称略)

◇義援金

《個人》

狩野哲也(瑞龍町)
1万5千円/柴山研一(磯部町)
10万円/大森嘉代(神奈川県) 1万円

《団体・法人》

第15回常陸太田市内中学校吹奏楽部合同演奏会(太田・峰山・世矢・瑞竜・南・北・水府・里美中吹奏楽部)
3万8822円/大正琴あすか
5万72円/四季農産館いのうえ
1万7772円/徳川ミュージアム分館 西山荘
5542円/県立太田第二高等学校職員会
3万4980円/こどもセンターうぐいす
PTA 1万2270円/常陸太田市役所部課長会 30万

義援金累計

3千134万6530円

円/常陸太田市社会福祉協議会職員一同 3万3250円
(株)アメニティエンジニアリング 3452円/株)常陽銀行 90万円/株)常陸観光 4万5890円/株)茨城保険リスクマネジメント 1万円
リスクマネジメント 1万円
/全国森林環境税創設促進連盟 5万円/秋田県仙北市・角館の観光行事実行委員会
103万3920円/真宗大谷派(東本願寺) 200万円
/中野区宝仙寺前通商店会
1万5165円/中野区鍋横大通商店会 3万1316円
匿名の方1件 5千円

心配ごとを抱えている方、
お困りの方はお気軽にご相談ください

新たに民生委員児童委員が委嘱されました

民生委員児童委員は、住民の福祉の増進を図るため、地域みなさんと福祉事務所、あるいは関係行政機関との連絡調整等を担いながら活動します。

次の方が、7月1日付で厚生労働大臣及び知事より民生委員児童委員に委嘱されました。

心配ごとを抱えている方・お困りの方は、民生委員児童委員にお気軽にご相談ください。

氏名	住所	電話	担当地域
菊池 博明	小目町	74-5798	小目町(平宿・高井・豆飼)

問福祉事務所社会福祉課社会福祉係(内線 141)

使ってますか?マイバッグ

お買物をするときは、
マイバッグを持参して
レジ袋削減に取り組み
ましょう。



人権の大切さについて普及に努め、
人権が侵害されたときの相談に応じる

新たに人権擁護委員が就任されました

人権擁護委員は、市町村において地域住民の人権が侵害されないよう注意を払い、人権が侵害されたときは、被害救済のための適切な処理をとるなど、人権の大切さについての理解を深めるための活動を行なっています。

このたび、永井暉人さんが退任され、新たに大曾根民子さんが委嘱されました。人権擁護委員は、市長が推薦し、法務大臣が委嘱した方です。任期は、3年間です。

氏名	住所	電話
大曾根民子	花房町 2364 番地の 3	76-1121

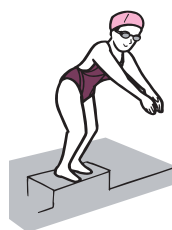
問福祉事務所社会福祉課社会福祉係(内線 141)

B & G スポーツ大会茨城県大会「7月9日／五霞町B & G海洋センタールール」

中学生女子バタフライ50m

準優勝 中島満里奈

(太田中)



第32回市長杯軟式野球大会「7月3・10日／山吹運動公園野球場・大里ふれあい広場野球場」

優勝 ダークホース

／準優勝 常陸太田市

役所／第3位 セン

チュリー、Deans



優勝したダークホース

平成23年度 市民提案型まちづくり事業 追加募集を行います

市では、市民提案型まちづくり事業に取り組む団体を募集しています。現在、はじめの一步事業、市民提案事業ともに各3団体程度の追加募集をしています。震災の復興や地域の課題解決など、自分たちの力で、地域の活力を生み出そうとするグループや団体をお待ちしています。

応募区分	はじめの一步事業	市民提案事業
交付対象者	構成員が5人以上で、その過半数が市内に在住、勤務もしくは在学している市民団体またはグループ等	
補助対象事業	市民と行政との連携による住み良い地域社会の実現のため、地域の活性化や課題解決を目的に、市民団体等が自ら企画し、主体的に取り組むまちづくり事業	これから活動を始めようとする市民団体等が、活動の継続を前提に計画する上記の補助対象事業
募集数	3団体程度	3団体程度
補助金額	上限10万円 ※助成は1回限りとし、次年度以降市民提案事業の申請可	上限30万円 ※年度中1回限りとし、同一事業を継続する場合は3年まで
事業実施期間	交付の日から平成24年3月31日まで	
申請期限	9月9日(金)	
申請等	募集要項を参照のうえ、市民協働推進課(市役所2階)まで持参してください。募集要項は本庁総合案内所・市民協働推進課・各支所の企画総務課・その他市の施設等で配布するほか、ホームページからダウンロードもできます。 【市民活動ネット】 http://www.city.hitachiotai.ibaraki.jp/index.php?code=1117	
選考結果の通知	選考結果(交付・不交付)については、審査委員会の審査を経て10月上旬に文書で通知します。 ※通知時期は、応募状況等により前後する場合あり	
その他	○書類の書き方や補助金制度に関する相談を受け付けていますので、詳しくはお問い合わせください。	

国間市民協働推進課 市民協働推進係(内線 217・218)

消費生活相談コーナー

心当たりのない

懸賞金当選メールが届いたが...

【相談事例1】

突然、応募した覚えのない懸賞金が当選したというメールが届いた。懸賞金をもらうためには個人情報や業者を知らせる必要があるが、信用できるか。

【アドバイス】

懸賞金が当選したというメールが届き、懸賞金を受け取るには手続きが必要だといわれ、ポイントを購入させられたりしてお金をだまし取られるケースが

目立ちます。

応募していない懸賞金に当選するはずがありません。懸賞金を受け取るために言われるままにお金を支払ったり、個人情報、クレジット番号、口座番号などを聞かれても決して教えてはいけません。絶対に業者を信用してはいけません。

問 消費生活センター

(☎ 70・1322)

毎月第3日曜日は家庭の日

平成22年度常陸太田市家庭の日推進募集標語 優良賞

おいしいよ みんなで食べる あさごはん

[小学生の部] 世矢小1年(受賞時) 安嶋 愛美

今月の

「市民健康スポーツデー」は

8月31日水です

個人、家族、グループなどで取り組み、楽しんで身体を動かしましょう！



毎月最終水曜日

問 スポーツ振興課スポーツ振興係(山吹運動公園市民体育館内 ☎ 73・0090 / FAX 73・1230 月曜・祝日は休)

河内小でミニコンサート

河内小（小野司寿男校長）では、東日本大震災で校舎が被災した佐都小の児童 62 人が、4 月から教室を借りて河内小児童 28 人と一緒に授業を受けています。その河内小で 5 月 24 日、弦楽四重奏団「アンサンブル・ライン」の演奏会が行われました。

演奏会は、佐都小と河内小の児童を励まし音楽に親しんでもらおうと、市内に住むオーボエ奏者の日高真里さんと、日高さんが親交のある音楽家の協力により行われたものです。

日高さんは「皆さんの元気な顔を見て安心しました。演奏会を楽しんでほしい」とあいさつ。また、地域住民も招待され、子どもたちと一緒に、メヌエットといったクラシックの名曲やアニメソングなどの素晴らしい演奏に聴き入っていました。



オーボエやヴァイオリン、チェロなどの美しい音色が体育館に響き、集まった児童や地域の方を魅了した

面白ジャガイモコンテスト

金砂郷小（井上悠紀子校長）では、面白ジャガイモコンテストを開催しました。コンテストは、竹合町の小野瀬美佐子さんが「面白い形をしたジャガイモが採れたので、子どもたちに見せたい」と学校に届けたものを、6 年生有志で実行委員会を組織して開催したものです。

「サザエさん」や「あひる」など、ジャガイモの形にあわせて、各クラスで趣向を凝らした様々な作品 20 点が昇降口に展示され、児童や教職員、保護者が投票しました。

小野瀬さんは「コンテストにつながると思わなかったのが嬉しい」と笑顔で話していました。



ジャガイモを提供した小野瀬さん（中央）と投票で 2 位になった「サザエさん」。左から実行委員の岩間涼音さん、金澤愛さん、石川真帆さん、高柿聖羅さんと 1 位に輝いた「ピエロ」

住民基本台帳の閲覧状況公表

住民基本台帳法第 11 条第 3 項および第 11 条の 2 第 12 項の規定に基づき、平成 22 年度の住民基本台帳の閲覧状況を公表します。

閲覧者氏名	閲覧事由	閲覧日	閲覧対象
金融広報中央委員会	家計の金融行動に関する世論調査	H22.4.20	下河合町、上河合町の 20 歳以上 16 人
内閣府大臣官房政府広報室	労働者の国際移動に関する世論調査	6.17	大森町の 20 歳以上
国土交通省観光庁参事官	2010 年度旅行・観光消費動向調査	7.9	高貫町の 20 歳以上
NHK 放送文化研究所	政治と社会に関する意識・2010 調査	7.26	真弓町の 20 歳以上 12 人
厚生労働科学研究費補助金（成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業）「望まない妊娠防止対策に関する総合的研究」研究班	男女の生活と意識に関する調査	7.29	落合町の 23 人
茨城県保健予防課	平成 22 年度健康実態調査	8.9	幡町、上河合町、谷河原町の 15 歳以上 19 歳以下
財団法人電力中央研究所	原子力発電に関する住民意識調査	8.17	山下町の 20 ～ 70 歳 40 人
内閣府大臣官房政府広報室	介護保険制度に関する世論調査	8.23	小目町の 20 歳以上
内閣府政策統括官	住宅と生活環境に関する意識調査	10.15	松栄町（1496 番地～）の 60 歳以上
特定非営利活動法人 日本緩和医療学会	一般市民を対象にした「緩和ケア」に関する認識度調査	10.15	亀作町（3 番地～）の 20 歳以上 40 人
大学共同利用機関法人情報・システム研究機構統計数理研究所	格差と社会意識についての全国調査	10.27	瑞龍町の 25 ～ 59 歳 14 人
内閣府政策統括官	平成 22 年度食育に関する意識調査	11.15	大里町の 20 歳以上
NHK 放送文化研究所	生活意識に関する調査	12.9	稲木町の 20 歳以上 18 人
総務省総合通信基盤局	電波利用環境に関する意識調査	12.13	真弓町の 18 歳以上 17 人
お茶の水女子大学	子育て期における働き方と生活の調和に関する調査	12.24	幡町の 26 ～ 38 歳の女性 14 人・既婚男性 14 人
龍谷大学	犯罪被害に関する調査	H23.2.7	小島町の 15 歳以上

編集部員の つ・ぶ・や・き

…今月も（相変わらず）編集作業に煮詰まってしまい、マイ癒しスポット「丸山農村公園（大里町）」へ。小高い丘の上にある公園は眺望も良く、昭和天皇もお出ましになった由緒ある場所。頭と心のオン・オフをこまめに切り替え、節電モードで再びパソコンとの戦いのリングへ。（編集部員 Y）

ふすまから古文書回収

6月29日、市郷土資料館と茨城大学が協力し、古いふすまから古文書を取り出す作業を行いました。

人知れず家庭に眠っている歴史的価値のある資料が、今回の大震災で失われるのを防ごうと実施したもので、ふすまの下張りから江戸時代の文書や帳簿類などが見つかりました。～歴史資料の保存にご協力をお願いします～ 問郷土資料館 (☎ 72-3201 月曜休館)



古文書を一枚一枚慎重に取り出していった



大谷石のピザ窯

毎月最終土曜日に鯨ヶ丘ふれあい広場（東三町）で開催されている夜市（太田ワクワク会主催）では、震災で大量に廃棄された大谷石を組み上げて作成されたピザ窯で作られるピザが大人気。この窯は、煙突部分に鯨をあしらひ、震災を過去のものとせず、まちの元気を取り戻すモニュメントとして制作されました。

毎月夜市では手作りの道具でピザを手際よく焼きながらも1時間待ちの状態で、子供たちは熱々のピザに舌鼓を打ちながら初夏の夕暮れを楽しんでいました。

美味しそうなピザは順番待ちの行列ができる盛況ぶり



中高生福祉チャレンジセミナー

7月26・27日、生涯学習センターと里美中で、市社会福祉協議会が主催し、中学・高校生福祉チャレンジセミナーが開催されました。このセミナーは高齢者や障害のある方に対し、助け合いの心や思いやりの心をはぐくむことを目的に実施したものです。

講師の福祉体験ボランティアの指導のもと、点字、手話、車いす、アイマスク体験を行い、体の不自由な方に対する理解を深めました。



アイマスクをして食べるゼリーの味は？



段差では声をかけながら車椅子を慎重に動かす参加者

誉田小児童がぶどう栽培を体験

7月13日、誉田小（窪木雅啓校長）の3年生24人が、ぶどうの粒を摘む作業と袋かけを行いました。

この取り組みは、同校の総合的な学習の一環として、子どもたちにぶどうの収穫までを体験してもらおうと、近所のぶどう生産農家の協力を得て毎年行っているものです。

子どもたちは、ぶどう園の方から説明を受けながら丁寧に粒を摘み、「大きく育ちますように」と袋をかけながら秋の収穫を心待ちにしているようでした。



農家の方に教わりながら、ぶどうの粒を摘んでいく子どもたち

毎年ボランティアが活躍

西山の里 桃源で毎年6月に開催している「花菖蒲まつり」では、まつり期間中、咲き終わった花菖蒲の花柄と茎の摘み取り作業に延34人のボランティアが汗を流しました。

まつり終了後の7月1日には、本市から日立製作所に通勤する日立製作所日立事業所日立労組常陸太田市通勤会のメンバー29人が、花柄の茎の摘み取り作業を行いました。桃源の花菖蒲がいつも綺麗なのは、ボランティアの方の愛情が込められているからかもしれません。



朝早くからボランティアに励む皆さん。常陸太田市通勤会のボランティア参加は今年で4回目になる



大吊橋を見下ろす絶景！赤岩展望台

天下野町の赤岩集落から起伏のある山道を 15 分ほど歩いていくと、竜神大吊橋を眼下に見渡すことができる絶景ポイントにたどり着きます。この絶景ポイントに、「赤岩ハイキングコースを守る会（中嶋正見会長）」が**赤岩展望台を整備**しました。

同会では、訪れる人にゆっくりと景色を楽しんでもらおうと、中嶋正見会長、松本勝利さん、中嶋源一さん、中嶋富寿夫さんが、眺望を良くするため木を切り、整地をして東屋を設置、約 3 カ月かけて見事な展望台が完成しました。

木材やセメントを作るための水・砂など、重い資材を運ぶのはかなりの重労働だったそうですが、「苦劳しましたが、みんなが展望台に来て楽しんでもらえれば、それだけで満足です。紅葉のシーズンは特に綺麗ですよ」と、中嶋会長やメンバーからは笑顔がこぼれます。

また、赤岩展望台へ続く道には、金属の手すりや滑り止めの木材なども同会によって設置されています。ぜひ皆さんも赤岩展望台で絶景を眺めてみてはいかがでしょうか。



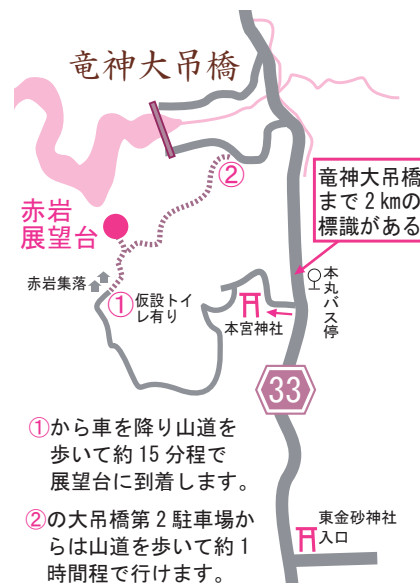
中嶋正見会長⑥と松本勝利さん。赤岩展望台の文字は中嶋会長の直筆。展望台の向こう側に見える竜神大吊橋を、ベンチに座りながらゆっくりと眺めることができる。



整備中、地域の女性の方々が飲み物などを差し入れてくれた



滑りやすい斜面の道には金属の手すりを設置した



①から車を降り山道を歩いて約 15 分程で展望台に到着します。

②の大吊橋第 2 駐車場からは山道を歩いて約 1 時間程で行けます。

社会を明るくする運動

犯罪や非行のない地域社会を築くための**社会を明るくする運動キャンペーン**（同推進委員会主催）が 7 月 26 日、かわねやフェスタ店とマックスバリュ常陸太田店前で行われました。

この運動は、犯罪や非行を防止し、また、罪を犯した人たちが立ち直ることができる地域環境の整備を呼びかけるため、全国的に行われているもの。

瑞竜中の生徒 31 人などが、買い物客にチラシ等を配りながら、「犯罪、非行の防止にご協力を」と、社会を明るくするための呼びかけを行いました。



運動に参加した生徒たちは、チラシ配りなど熱心に取り組んだ

交通安全キャンペーン

夏の交通事故防止県民運動の周知と夏休み中の子供たちや高齢者の交通事故防止、また、飲酒運転・スピード違反・過労運転等の防止を推進するため、常陸太田駅前交差点他市内 3 カ所で**街頭キャンペーン**が実施されました。

参加した団体は、太田警察署・太田地区交通安全協会・太田地区安全運転管理者協議会・大好きおたネットワーク・常陸太田市交通対策協議会で交通事故防止を道行く運転者たちにチラシを配布しながら呼びかけました。



ドライバーに飲酒運転・スピード違反防止について呼びかけた



がんばってます

Vol.24

Kondo Yoshikira

近藤 良弘

さん (小妻町)

野菜は主に季節ごとに10種類ほどを箱詰めし、県外の消費者に送ったりしています。栽培した野菜をどのように売

就農を決意しました。

徳田町の農家のお宅で研修をしながら、自宅で50〜60種類の野菜を栽培しています。私は岡山県出身で、5年前に徳田町で農業研修を行い、その後、青年海外協力隊として西アフリカに渡航。帰国後に国際協力の道と農業の道を迷ったものの、最終的に昨年12月に常陸太田市に移住して

まだまだ勉強の日々ですが、野菜を買ってもらったお客さんから「美味しかった」と連絡をいただくなど、食べてもらった感想を聞くのが一番の

るかが一番の課題です。また、農業を使わなかったため雑草を抑える方法を考えたり、数多くの種類の野菜を栽培しているため頭の切り替えが大変。同じ地域でも畑によって野菜の育ち方や虫の出方、草の生え方が全く違いますし、なかなか思ったとおりには野菜は育ってくれないですね。



楽しみます。この地域は自然も豊かで川も綺麗。それに、みんなすごく優しく、ご近所付き合いも残っていて住みやすい。自立して経営を軌道に乗せるのが今の最大の目標ですが、同時に、この住みやすい地域に何か貢献できたらいいなと思っています。

がんばってる若者 募集中!

- 対象 市内で働いている若者
市外で働いている若者 (市民に限ります)
- 問 情報政策課広報広聴係 (内線 303・304)

園児たちへきょうらいー

今月は「幸久幼稚園」で〜す (^o^)/

みんなの七夕かざり

「ひまわり組」のみんなで、七夕かざりを作ったよ。たんざくに願いごとを書いて、先生といっしょにとりにいった竹に、みんなでかざりつけをしたんだ。「おりひめ」と「ひこぼし」は会えたかなあ。



のんびり歩こう♪ ひたちおたでくでくウォーク③

市内の自然・史跡や特産品なども交えて見所をお伝えしながら、地元の身近なウォーキングコースを紹介していきます。地元の意外と知られていない名所や素晴らしい自然、見所を巡りながら、皆さんもぜひ歩いてみませんか。

③

菅谷不動尊の滝

滝を望む展望台が震災で崩れていて少し残念



② かじかきわ
河鹿沢

素晴らしい溪流、途中に水車の水力発電所もある

①

高宮神社のカシ

推定樹齢 500 年。平成 21 年の台風で折れてしまった



④ めだき
雌滝

かなりの迫力の雌滝



⑤ おだき
雄滝

雌・雄滝両方に東屋があり、ゆっくり景色を楽しむことができる



⑥ たつわれさん
堅破山の入口の碑

山岳信仰の堅破山への山道の入口と教えていただいた

今回は、エコミュージアム活動で作られた「お宝マップ」を基に、1 周約 5Km のコースを地域の方に案内していただきました。上深荻大菅コミュニティセンターに車を置き歩き始めると、すぐに土砂降りの雨が降ってきました。民家の軒先をお借りすると、そこに住む 102 歳になるおばあちゃんが顔を出し「今日はどうしたの?」「元気だったけ?」しばし時間を忘れ話し込んでいます、いつの間にか太陽が出ていました。

再び歩き始め、暑さを逃れて山に入り、河鹿沢をさかのぼり菅谷不動尊の滝を目指しました。涼しげな溪流にマイナスイオンが豊富で、近くにはめだき・おだきなど雄大な滝も見られ、なかなか迫力があります。また、景色を楽しむための東屋があり、ゆっくり休むことができます。溪流をぬけると梨木平工芸の森があり、国道 349 号まで下ると堅破山の入口の石碑がひっそり立っています。今回のコースは人との触れ合いがあったり、自然の雄大さや歴史を感じることでできる非常にバラエティに富んだコースでした。皆さんもぜひ触れ合いとマイナスイオンを楽しんでください。

表紙に
よせて

新常陸太田駅舎に、レトロ感あふれる「ハッスル黄門号」の雄姿。7 月 16 日、J R 常陸太田駅の新駅舎完成披露式典が同駅前広場で盛大に開催されました。水郡線の愛称は「奥久慈清流ライン」に決定し、水郡線が多くの人に親しまれ、利用されることでしょう。奥久慈清流ラインが乗客と共に、常陸太田の明るい未来と希望を運んでくれるとの願いを込めて。

発行 常陸太田市 / 編集 情報政策課 〒 313-8611 常陸太田市金井町 3690
☎ 72-3111 (内線 303・304) Fax72-3002

*広報ひたちおたは市のホームページでもご覧になれます

URL <http://www.city.hitachiota.ibaraki.jp/>

この広報紙は再生紙を使用しています